

## 県民の防災意識及び取組状況

兵庫県は、安全・安心な社会づくりに向けて、阪神・淡路大震災以降、総合的な防災や減災のための対策を推進していますが、近い将来の発生が確実視されている南海トラフ地震では強い揺れや津波が広範囲にわたって生じると予想されており、自分自身、家族、地域の人たちの命を守るためには日頃の備えが重要です。

このため、今後のさらなる防災・減災対策に役立てる目的で、災害に対する意見や地域における備えの現状について、県民モニターの皆さんのご意見をいただくことといたしましたので、ご協力をお願いします。

### (1) 県民のリスク認識

Q 1 平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を経験しましたか。

- 兵庫県内の被災地(※)で経験した。
- 兵庫県内の被災地(※)以外で経験した。
- 直接、経験しなかったが阪神・淡路大震災があったことは知っている。
- 経験しておらず知らない。

※兵庫県内の被災地（平成7年1月17日時点の市町名）

神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、明石市、三木市、洲本市、津名町、淡路町、北淡町、一宮町、五色町、東浦町、緑町、西淡町、三原町、南淡町

Q 2 【住んでいる地域に対する災害リスクの意識】

あなたが住んでいる地域は、災害（地震、津波、土砂災害、洪水等の自然災害）に対して安全だと思いますか。

- 安全
- まあ安全
- やや危険
- 危険
- わからない

Q 3 【防災情報の入手方法】

あなたは、防災に関する情報(\*)を日常的にどちらから入手されていますか。

(いくつでも) \*情報の例：気象情報(注意報、警報、台風情報等)、地震情報等

- ひょうご防災ネット (<http://bosai.net/regist/>)
- 国、県、市町などの行政機関の広報誌やホームページ
- Yahoo、Googleなどのポータルサイト
- スマートフォンのアプリ
- 新聞
- テレビ
- ラジオ
- 友人、知人や家族
- 地域の人(自治会長等)
- その他

**Q 4 【津波リスクの認知状況】**

県のホームページ等で公表している津波浸水想定区域について、当てはまるものをお選びください。

- 自宅が津波浸水想定区域内にあることを知っている
- 自宅が津波浸水想定区域内にないことを知っている
- 自宅が津波浸水想定区域内にあるか知らない

**Q 5 自宅にいるとき、居住地域に大津波警報・津波警報の発表を知った場合に、いつ避難しますか。【新規】**

- 居住地域に大津波警報・津波警報はでないと思う
- すぐに避難する
- 市町の避難勧告等が発令された後に、避難する
- 周辺の浸水が始まってから、避難する
- 居住地域に大津波警報・津波警報はでないと思う
- 自宅が安全と思うので、避難しない
- 自宅が安全か分からないが、避難しない（下欄に避難しない理由を記入ください）

--

**(2) 自助の課題への取組**

**Q 6 【家庭での防災の話し合い】**

あなたの家では、災害に備え、普段からどのようなことについて、家族で話し合いをしていますか。(いくつでも)

- 住んでいる地域の避難場所・避難経路の確認
- 災害時の家族との安否確認・連絡方法
- 非常用食料、持ち出し品等の保管場所、使用方法
- その他、災害発生時の行動、災害への備え等
- していない

**Q 7 【避難に関すること】**

お住まいの地区で指定された避難場所を知っていますか。

- 知っている
- 知らない

**Q 8 安全な場所まで避難する時間がないときは、安全確保のため、自宅2階など高所へ避難する方が有効な場合があることを知っていますか。**

- 知っている
- 知らない

**Q 9 あなたは、避難準備情報・避難勧告・避難指示について、その情報をどのような手段で提供して欲しいですか。あてはまるものをお選びください。(いくつでも)**

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 防災無線やサイレン       | <input type="checkbox"/> 市町の広報車や消防車両                 |
| <input type="checkbox"/> インターネット（ホームページ） | <input type="checkbox"/> 区長・自治会長から                   |
| <input type="checkbox"/> 友人、知人や近所の人      | <input type="checkbox"/> CATV                        |
| <input type="checkbox"/> テレビ（データ放送を含む）   | <input type="checkbox"/> ひょうご防災ネット                   |
| <input type="checkbox"/> エリアメール          | <input type="checkbox"/> ラジオ                         |
| <input type="checkbox"/> 半鐘              | <input type="checkbox"/> その他（                      ） |

**Q10【住宅耐震化の状況】**

お住まいの住宅が、昭和56年以前に建築された方のみお答えください。(木造・鉄筋コンクリート・鉄骨造住宅にかかわらず)

あなたは、耐震診断又は耐震補強をしましたか。

- 耐震診断又は耐震補強をしている。
- 現時点ではしていないが、できればしたいと思っている。(下欄にしていない理由を記入ください)
- 将来にわたってしない。(下欄にしない理由を記入ください)

**Q11【家具転倒防止の状況】**

あなたの家では、家具等の固定(転倒防止)をしていますか。

- 家具等の固定をしている。
- 現時点ではしていないが、できればしたいと思っている。(下欄にしていない理由を記入ください)
- 将来にわたってしない。(下欄にしない理由を記入ください)

**Q12【個人用備蓄状況】**

あなたの家では、災害に備えて、飲料水や食料品を備蓄していますか。

- 備蓄している。《→Q12-2へ》
- 現時点ではしていないが、できればしたいと思っている。(下欄にしていない理由を記入)
- 将来にわたってしない。(下欄にしない理由をご記入ください)

**Q12-2** 前問で「備蓄している」と回答された方にお伺いします。家庭での備蓄は何日分ですか。(2つまで)

※ 1日分は、飲料水では一人3リットル、食料品では3食分を目安に、それぞれ家族全員で何日分備蓄があるかお答えください。

- |                                     |                                     |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水を1日～2日分 | <input type="checkbox"/> 食料品を1日～2日分 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水を3日分    | <input type="checkbox"/> 食料品を3日分    |
| <input type="checkbox"/> 飲料水を4日～6日分 | <input type="checkbox"/> 食料品を4日～6日分 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水を7日以上   | <input type="checkbox"/> 食料品を7日以上   |

**Q13【災害時のトイレに関すること】**

災害時にはトイレが使えない可能性があります。災害に備えて市販されている携帯トイレ又は凝固剤等を備蓄していますか。

- 備蓄している
- 現時点ではしていないが、できればしたいと思っている(下欄にしていない理由を記入)
- 将来にわたってしない。(下欄にしない理由をご記入ください)

### (3) 共助の課題への取組

#### Q14【防災訓練への参加状況等】

あなたは、この1年以内に地域の防災訓練に参加したことがありますか。

- 参加したことがある。
- 参加したことはないが、機会があれば参加したい。(下欄に参加していない理由を記入)
- 今後も参加するつもりはない。(下欄に参加しない理由をご記入ください)

#### Q15【兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）】

あなたは、兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）をご存じですか。

- すでに加入している。
- 内容は知っているが加入していない。(下欄に加入していない理由をご記入ください)
- 言葉は見聞きしたことはあるが、内容は知らない。
- 全く知らない。

### (4) 防災力強化県民運動

Q16 「ひょうご防災特別推進員制度」では自治会や学校等で防災対策に関する講義や防災訓練への助言等を行っていますが、関心があるものはどれですか(いくつでも)

- 家具の転倒防止
- 住宅の耐震化
- 県住宅再建共済制度
- 実践的な防災訓練の実施
- 阪神・淡路大震災の経験・教訓
- 自主防災活動に関する防災講義
- ワークショップ、危険箇所マップづくり等
- 津波、豪雨災害等に備える避難訓練
- その他(下欄に具体的にご記入ください)

Q17 県民の自主的な防災活動を経費面で支援する「ひょうご安全の日推進事業助成制度」を知っていますか。

- 内容も含め、知っている。
- 言葉は見聞きしたことがあるが、内容は知らない。
- 知らない。

**Q18** 津波や豪雨災害において安全に避難するために、あなたの地域で取り組まれていることは何ですか。(いくつでも)

- フェンス、電柱等に海拔と津波高、避難場所の方向を表示
- 避難路沿道で倒壊の危険のある建物や豪雨時に土砂崩れの危険性のある地点の表示
- 津波や豪雨災害を想定した避難訓練の実施
- 災害時に要援護者となる方への支援体制づくり
- 避難したことを示す標識（シール等）の作成・配布
- していない
- その他（下欄に具体的にご記入ください）

**Q19** 災害が発生した時に、高齢者や障害者などの避難支援や安否確認が行えるよう、行政から自治会や自主防災組織などに、そうした方の名簿などの個人情報を提供することについて、あなたのお考えに近いものを選んでください。

- 救助や支援のためであれば、平時からあらかじめ提供してもよい
- 災害が発生してからなら提供してもよい
- 災害時であっても提供するべきではない
- わからない